

第1回トンボ池等湿地環境再生検討会 議事要旨

日 時：平成21年6月22日（月）13:30～16:00

場 所：水辺共生体験館 セミナー室

1. 現地見学会

2. 開会

3. 設立趣旨及び規約等について

規約については、委員全員の了承を得た。

4. 審議事項

下記の審議項目に対し、事務局より内容等の説明を行い、以下のような主な意見を頂いている。

<審議項目・説明内容>

1) トンボ池周辺の現状と課題

- ・ トンボ池周辺の変遷と公園化等人為的影響の増加について
- ・ トンボ類の種数、個体数の減少について
- ・ 木曽川本川の河床低下による冠水・攪乱頻度の低下について
- ・ トンボ池周辺の地下水位の低下による干上がりについて
- ・ トンボ池等の富栄養化の進行について
- ・ 水源となる新境川等の周辺水質の状況について
- ・ 乾燥化による水生植物相の変化、沈水植物の減少について
- ・ 魚類種、外来魚類の変遷について
- ・ その他水生生物種、アメリカザリガニ等外来生物の変遷について
- ・ トンボ池周辺の伐開を進める竹林の状況について
- ・ 周辺竹林の密生による生物相の多様性の低下、表土流出の増加及びグラウンド等からの土砂流入の懸念について
- ・ トンボ池等湿地環境の再生について寄せられた意見の紹介について
- ・ トンボ池等湿地環境の劣化のインパクト・レスポンスについて

2) 緊急避難的及び長期的観点からの再生計画

- ・ 長期的目標案と短期的目標案について
- ・ 短期的な対策メニュー（案）として緊急避難的な対策の池の掘削、底泥の除去、外来魚の駆除、竹林の伐開、池間の水路の掘削、雨水排水処理、ため池機能回復について
- ・ 長期的な対策メニュー（案）として本格対策の水位の確保（既往井戸の活用、深井戸の新設、河川水の導水）、外来魚の駆除、水質の改善、周辺環境の改善について
- ・ 調査・検討・対策の進め方、実施体制のイメージ等について

3) 平成21年度調査（物理環境・生物環境）方法及び春季調査速報

- ・ 調査項目、内容、工程等について
- ・ 各池の水質調査、トンボ類の確認状況等の春季速報結果について

＜委員の皆様の主な意見＞

1) トンボ池周辺の現状と課題

- ・ いろいろな要因があるが、トンボ類の生息には、まず水を確保することが重要。
- ・ トンボ池等は子どもの遊び場で、様々な生き物やトンボが多くいた天然のビオトープであった。
- ・ 洪水により年に3～4回程度冠水し、水が引いた後は魚が多くいた。
- ・ トンボ池周辺の樹林地ではヒメボタルが減っている。
- ・ 堤防の北側の堤内地にはスクミリングガイが多数生息しており、これらがトンボ池等に侵入した場合水生植物に多大な影響があると考えられるため心配している。
- ・ トンボは強かであり、都会の屋上でも水があればどこからか移動してくる。
- ・ 中池に湧水があった。トンボ池等はそれら湧水により岐阜県の名水百選になっていた。
- ・ 中池とまこも池の間に4～5年前に湧水を確認している。中池の一番東の蛇籠の間から湧水がある。
- ・ 新境川から水を引く場合、窒素・リンが高く、水昆虫等への影響が懸念される。
- ・ 新しく作った造成池で一番トンボが多い。またアサザを誰かがかかつて入れている。

2) 緊急避難的及び長期的観点からの再生計画

- ・ 人工的に作り変えるのではなく、自然に再生して欲しい。
- ・ 掘削による水面の確保について、鳥類の捕食圧が心配である。
- ・ 再生計画ですが、どのあたりまで再生をしていったらいいかというようなこともひとつ考えてほしい。
- ・ 地下水ポンプは一時的なもの、新境川の導水は長い目で見ればありがたい。
- ・ 竹林は密生していて風通しが悪いため間伐で風通しがよくなる。グラウンドから流れ込んでいる水をトンボ池に入らないようにできないか。
- ・ 対策メニューが多数あり、目標として最低限何をすべきかを整理すべき。その意味で沈水植物の減少がトンボ類の産卵場や富栄養化の軽減に繋がることから、底泥の除去に際して底泥のシードバンクの活用し、沈水植物を増やすことを優先としてはどうか。
- ・ 目標が明確でないため、調査が的確かどうか判断できない。目標を具体的に明確にすべき。
- ・ 現状トンボ池だけにいるトンボはいないし、6つある池の内一つを浚渫等で新しくしても、他の池があるため、造成池のようにすぐに多くのトンボ類がくると考えられる。このため掘削等の影響についてはあまり気にしないでよいと考える。
- ・ 工事等については専門の先生もおられるため、可能な限り慎重にして欲しい。
- ・ 池がたくさんあるので、全国の事例にないいろいろな実験的な対策を行うこともよいと考える。

5. その他

＜今後の予定＞

第2回を平成21年9月、第3回を平成22年1月に予定している

6. 閉会

以上